

× 中小企業の 従業員 顧客 経営 を守る! ☆

新型インフルエンザ対策



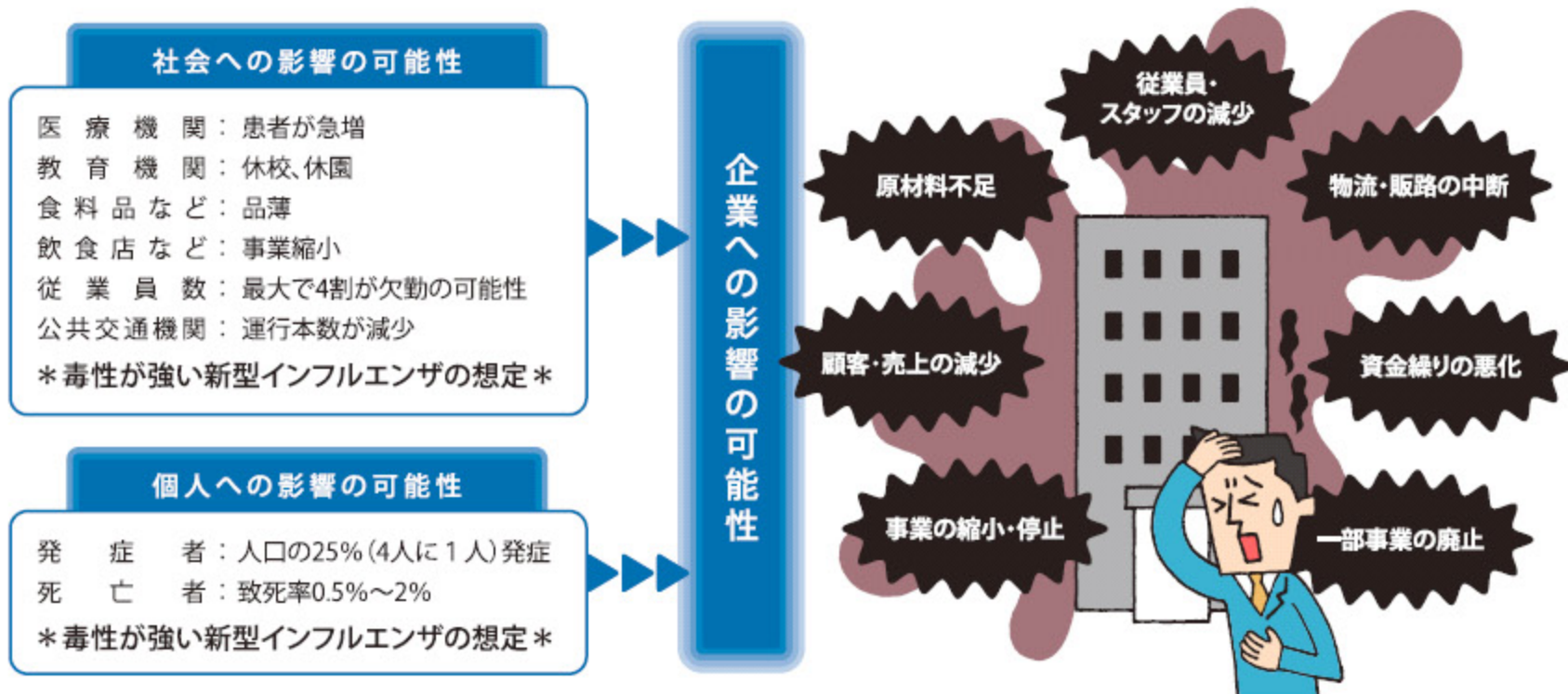
BCP(事業継続計画)

新型インフルエンザの感染が子どもや若年層を中心に広がっています。感染が深刻化すると、企業活動への影響も懸念されます。企業自らがしっかりと新型インフルエンザの感染防止や対策、事業活動を継続していくための準備をしましょう。



新型インフルエンザ感染が深刻化すると何がおきるのか?

現在感染が広がっている新型インフルエンザは弱毒性ですが、毒性がより強い新型インフルエンザが蔓延した場合での検討では以下のような影響が想定されています。



何を準備し、対応すべきでしょうか?

従業員を守る

- 従業員、経営者の感染予防
- 職場での感染予防
- 感染発生時の対応
発症後対応、蔓延防止



顧客を守る

- 来店、来社時、訪問時
- 顧客への販売、サービス供給を維持する
- 感染流行時の対応
配達、訪問、連絡体制



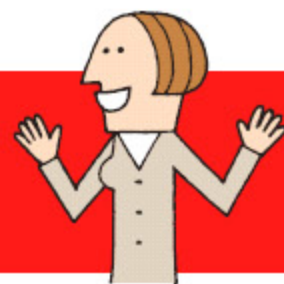
経営を守る

- 予防、対策、説明で信頼
- 重要業務と関連人材等の特定と維持・確保
- 支援先、連携先の確保
- 売上減少、倒産リスク対応
- 状況把握と経営判断

対策

1

最新の情報を入手しましょう!



新型インフルエンザ蔓延状況、対策の取り組み方針、医療機関等の対応状況等、国や県の機関等から常に最新の正しい情報を入手しましょう。また、業界や大手企業の事業継続（BCP）への取り組み情報を入手し、経営者、従業員全員に周知しましょう。情報入手先は巻末の「関連機関先」を参照してください。

対策

2

感染防止策、対応策を検討しましょう!

新型インフルエンザは、従業員や顧客など、人への被害が重大となります。
感染拡大、深刻化を防ぐには感染防止策をしっかりと行うことが大事です。

✓ 職場における感染防止策

- ☐ マスクの備蓄、着用
- ☐ うがい・手洗い・アルコール消毒などの励行
- ☐ 対人距離（2m以上）確保
- ☐ 対面会議、顧客訪問、対面販売方法の変更等
- ☐ 時差通勤、公共交通の利用をなるべく避ける
- ☐ 最新の正しい情報（国や県等）の把握
- ☐ 従業員の健康管理の強化（検温、出社制限等）
- ☐ 手洗いの徹底（入口に手洗い、アルコール消毒）
- ☐ 感染した場合の連絡体制づくり

✓ 従業員が心がける感染防止対応

1. 出社前、常時		
項目	対応	
☐ 検温	熱があれば会社に連絡	
☐ 家族発病	会社に連絡、対応を相談	

2. 通勤時		
項目	対応	
☐ 通勤手段	公共交通機関はできる限り避ける	
☐ マスク着用	飛まつ感染防止	
☐ 咳をしている人に近づかない	飛まつ感染防止	

3. 出勤・勤務時		
項目	対応	
☐ 入室時手洗い	手洗い、アルコール等で消毒	
☐ トイレ、空調	ウィルス拡散に注意	
☐ 食堂	時間帯をずらし、接触感染を避ける	
☐ マスク着用	飛まつ感染防止	
☐ レイアウト	従業員の間隔を離す	
☐ 電話の活用	対面による感染防止	
☐ 手すり等消毒	手の触れる場所の消毒	
☐ 室内の加湿	ウィルス拡散防止	

4. 来客・接客		
項目	対応	
☐ 入室時手洗い	手洗い、アルコール等で消毒	
☐ 来客エリア限定	来客者の立ち入りエリア限定	
☐ 来客時間管理	同じ時間に来客が集中しない	
☐ 来客数制限	同時に入れる来客数の制限	
☐ 来客者との距離	対面による感染防止	

✓ 従業員個人や従業員の家庭でできる感染・防止策

□ 咳エチケット

咳やくしゃみの際は、ティッシュ等で口と鼻を押さえましょう。



□ 手洗い・うがい

外出から帰宅したら、きちんと手洗い（石けんと流水で15秒以上が目安）・うがいをしましょう。



□ 感染者との距離の保持

感染者から適切な距離（2m以上）を保つことで、飛まつ感染の危険性を下げることができます。



□ マスクの着用

感染予防にあたっては不織布製マスク（繊維あるいは糸などを織ったりせず、熱などにより接着して作った布マスク）を着用ください。感染することの予防と感染させることの予防の両面から着用を励行してください。

